

IV. 町会への加入促進

1 加入促進の必要性

近年、価値観の多様化やライフスタイルの変化により、町会活動に無関心な人が多くなってきたことで、町会（自治会）の加入率は、全国的に減少の傾向にあります。

松本市においても町会の加入率は減少傾向にあり、町会役員の担い手不足や町会行事への参加者の減少など、町会活動に支障をきたすことも出てきています。町会への加入促進は、町会が抱える大きな課題の一つとなっています。

市でも、市民課や支所・出張所の窓口で、転入者の皆さんへ町会加入促進のチラシを配付し加入をお願いしています。しかし、町会は任意の自治組織であり、加入も個人の意思によるため、市としても強制はできないのが現状です。

町会の加入については、私たち地域住民が、ご近所に新しく転入してきた方々とよく話し合い、町会について理解を深めてもらい、加入を勧めることが大切です。

2 町会加入の呼びかけ手順

積極的な町会加入の呼びかけをしている町会がある反面、その必要性を十分に説明できていない町会や、呼びかけ方法や手段が不十分な町会もあります。

そこで、加入呼びかけの基本的な方法などを以下にまとめました。町会に加入してもらうためには、まずは声かけが必要になりますので参考にしてください。

① 未加入世帯の調査、把握

- 住宅地図などを参考に未加入世帯を確認します。
⇒アパート等の場合は、オーナーや管理人の協力を得ましょう。

② 役員同士の認識の共有、町会の役割の再確認

- 役員間で呼びかけの熱意や誠意を育みましょう。
- 加入メリットなど想定される質問に答えられるよう準備しましょう。

③ 訪問時の説明資料の用意

- 加入案内や加入申込書の作成、加入促進チラシを用意します。

(46～50ページ参照)

- 総会資料（規約、事業計画書など）を用意します。

（37～43ページ参照）

⇒ 総会資料は難しいという印象があるので、できるだけ分かりやすい説明を心がけましょう。

④ 訪問の方法

- 訪問人数は、2人程度の複数人とします。
- 訪問時期は、転入者は引っ越し後できるだけ早めに訪問します。また、在住の未加入者はイベントなどの開催時に訪問します。
- 訪問時間帯は、相手の対応可能な時間帯を考慮しましょう。
- 携行品は、加入案内、加入申込書、加入促進チラシ、総会等の資料、行事・イベント案内などを携行します。
- 訪問は、初回訪問時には5分程度の簡単な説明にとどめ、1週間後くらいに再訪問しましょう。


丁寧な対応を心がけ、相手の質問にきちんと答えましょう。

町会加入促進の事例

市内には、町会加入を促進するため、地区町会連合会で町会加入促進プロジェクト会議を立ち上げ、加入促進マニュアルやチラシを作成している例もあります。具体的な町会活動を紹介することで、町会の加入促進に繋がっています。

健康寿命延伸都市・松本
寿地区町会加入促進マニュアル

互いに支え合い、明るく住みやすく安全で安心して暮らせる寿地区をめざして



平成25年3月
寿地区町会連合会
町会加入促進プロジェクト会議

始めましょう！
地域で一緒にまちづくり
皆さんの安心と安全をお守りするの町会です
寿地区町会連合会

私たち寿地区には12の町会があります。そこにお住まいの会員の皆様が安心かつ多様な生活を過ごすために、それぞれの町会が自治組織を作り様々な活動を行っています。
一方で、震災発生直後を契機に様々な課題が生じました。この松本市を維持ではなく、6月30日に震災から強固な地域に見舞われ大きな被害が出ました。また、半壊や倒壊による地域の防災安全確保もなっていない地域があります。
そんな時だからこそ、新たな自治会があるのがご近所であり町会です。『絆（絆うまでおとなと人のつながりを意味します）』という言葉を掲げられています。これを機に『絆（絆うまでおとなと人のつながりを意味します）』に加入されてお住まいの地域を、共に快適で暮らしやすいまちにしたいと思いませんか？

◇町会ではこんな活動をしています◇

- 安心安全のまちづくり**
 - 自主防災組織を組織し防犯訓練を実施。また市の補助を活用して防災器材を整備し災害に備えています。
 - 焼燬、倒壊、倒壊、町会それぞれに災害時の集合場所、避難場所を設置し、防災マップを作成するなど災害に強いまちづくりを進めています。
 - 市の『避難経路確保制度』を活用したり、町会毎に独自の『住民台帳や安否確認リスト』を作成し災害時だけでなく、日常の地域のつながりや助け合いの活動を行っています。
 - 町会の憩いの場としての公園やグラウンドなどの維持や管理を実施し、子どもたちが安心して遊べる環境を守っています。
 - 防災対策の取組やその普及化、情報などは、市の補助制度を利用し町会が実施しています。
- 行政と住民のパイプ役**
 - 広報まごちや町会だより、町会独自の配布物などを配布・届けるなど様々な情報の提供をしています。
 - 町会の防災や災害準備などを町会と行政に連携しています。
- 快適な生活のために**
 - 課題から出るごみ(可燃物、資源物、埋立て、燃費)の収集場所を整理し、整理清掃などごみを決めて実施しています。
- 寿地区や町会住民相互の親睦と文化活動**
 - 新年会、敬老会、運動会、出陣式、お祭り、健康教室、懇話会などを実施しています。

町会活動の運営費
町会加入と町会費を請求しています。加入も合則制の下記でお問い合わせください。

町会名	町会長名	町会長の連絡先

『町会加入促進活動のお願い』
皆さんの声かけで町会加入のお願いを！
寿地区町会連合会

私たち寿地区には12の町会があります。そこにお住まいの会員の皆様が安心かつ多様な生活を過ごすために、それぞれの町会が自治組織を作り、いろいろな活動を通して『暮らしを一緒に楽しむ』を掲げています。
一方で、震災発生直後を契機に様々な課題が生じました。この松本市を維持ではなく、6月30日に震災から強固な地域に見舞われ大きな被害が出ました。また、半壊や倒壊による地域の防災安全確保もなっていない地域があります。
そんな時だからこそ、新たな自治会があるのがご近所であり町会です。これを機に『絆（絆うまでおとなと人のつながりを意味します）』に加入されてお住まいの地域を、共に快適で暮らしやすいまちにしたいと思いませんか？

◇地域ではこんな活動をしています◇

- 安心安全のまちづくり**
 - 自主防災組織を組織し防犯訓練を実施。また市の補助を活用して防災器材を整備し災害に備えています。
 - 焼燬、倒壊、倒壊、町会それぞれに災害時の集合場所、避難場所を設置し、防災マップを作成するなど災害に強いまちづくりを進めています。
 - 市の『避難経路確保制度』を活用したり、町会毎に独自の『住民台帳や安否確認リスト』を作成し災害時だけでなく、日常の地域のつながりや助け合いの活動を行っています。
 - 町会の憩いの場としての公園やグラウンドなどの維持や管理を実施し、子どもたちが安心して遊べる環境を守っています。
 - 防災対策の取組やその普及化、情報などは、市の補助制度を利用し町会が実施しています。
- 行政と住民のパイプ役**
 - 広報まごちや町会だより、町会独自の配布物などを配布・届けるなど様々な情報の提供をしています。
 - 町会の防災や災害準備などを町会と行政に連携しています。
- 快適な生活のために**
 - 課題から出るごみ(可燃物、資源物、埋立て、燃費)の収集場所を整理し、整理清掃などごみを決めて実施しています。
- 寿地区や町会住民相互の親睦と文化活動**
 - 新年会、敬老会、運動会、出陣式、お祭り、健康教室、懇話会などを実施しています。

いろいろな仲間から声かけを！
• 町会活動の良さや、PTA活動の場、小さな子ども様をお持ちのお母さんの集まり、高齢者のみなさんの集まりの場など、様々な場をお借りして町会加入を勧めてください。

入会していただけるかたについては、町会長までご連絡下さい。